

Weekly Bulletin

2023-2024



RI会長
ゴードンR.マッキナリー



世界に希望を生み出そう

静岡東ロータリークラブ

会長/川口尚宜 幹事/宮崎貴久

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
川口尚宜

第3073回例会 令和5年9月7日

《司会》 宮崎貴久君

《合唱》 君が代 奉仕の理想

《ソングリーダー》 畑田整吾君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

- ・お誕生日 9月14日 竹内竜也君
- ・結婚記念日 9月19日 杉山輝光君

《会長挨拶要旨》 川口尚宜 会長

本日は、大変悲しいお話しをせざるを得ません。当クラブの肥田会員の次男 渉さんが50才という若さで9/3(日)にご逝去されました。くも膜下出血とのことです。ご本人が亡くなったことを一番信じられないと思いますが、今でも私も信じられません。

肥田会員とは、当クラブに入会する前から面識がありました。私ではなく、当社の代表取締役であり私の義理の父である古谷社長が元々静岡雙葉学園の評議員を肥田会員と務めておりました。静岡雙葉学園は、私の祖母と姉、義理の母と妻・妻の妹、肥田会員の奥様と長女さんも静岡雙葉学園と身内に沢山の卒業生がおります。さらに、私が当クラブに入会する前の15年前に現在の自宅である大谷洋光台の中古住宅をしずてつ不動産の仲介で購入し、引っ越ししてきた隣が偶然にも肥田会員のご自宅でした。その4年後の11年前に肥田会員、神野会員のご紹介を受け当クラブに入会することになったのです。又、肥田会員の長男、次男のお二人は私の高校の後輩でした。肥田会員は芝生が好

きで私の自宅の芝生もこうした方が良く、ああした方が良くいつもアドバイスを頂いています。又、私の子供が垣根を越えて肥田家に遊びに行ってしまう、渉さんのお子様や長男さん、長女さんのお子様たちと一緒に流しそうめんを食べさせてもらったりしていました。つまり、私にとっては、渉さんは兄弟のようであり、肥田会員はお父さんのような感じなのです。そんな、肥田会員の大事なご子息であり、会社の代表取締役でもあった渉さんをなくされた悲しみは、計り知れないものがあると存じます。残されたご家族に対しても微力ながら私なりにできる限りのサポートをしたいと思えます。心からご冥福をお祈りいたします。

本日、13:30より、しずてつソーサレア豊田にてお別れの会がございます。家族同然の隣人として、又当クラブを代表しまして私が出席してまいります。本日、濁澤会員の会員卓話を楽しみにしていましたが、濁澤会員ご自身からもお別れの会に出席したいとご要望が出ましたので、本日の卓話はお時間を少し短くして頂き短縮例会としたいと思います。濁澤会員よりお願い申し上げます。

本日はお願いがもう一つあります。スマイルのお願いです。昨年度の決算報告が先日行われました。今期フルスペックの活動を予定していることもあり、当年度の財政が厳しい予想が出ています。コロナ禍で活動が出来なかった時期の財政とフルスペックで活動を行った場合の支出を同じに比べることはできませんが、会費収入を上回る支出はできません。支出を予定より抑える手を打ちながら、スマイルをよりやって頂けると助かります。現在のスマイル予定が年間90万円で、会員数で割ると一人当たり年間17,000円です。1ヶ月にすると1,500円です。つまり、全ての会員が2ヶ月に1回3,000円のスマイルをして頂けると90万円

になります。もし、よろしければ全会員様が月に1回3,000円のスマイルをして頂けると非常に助かります。必要な活動費ならば会費を上げれば良いという考えもあるかと思いますが、私の考えとしては会費を一度上げてしまうと下げることが難しいので、なるべくなら会費は上げたくないのです。毎年色々なコストが上がっているなかで、少しでも会員同士やその家族が会に参加して良かったと思えるクラブ活動になるように強制的な会費ではない、日ごろのプチ良いことを仕事でもプライベートでも毎月少なくとも1回はスマイルという形で表して頂きたいと思います。伊藤会員のように理由はないけどスマイル委員と目が合ってしまったのでスマイルしますというのも大歓迎ですし、どうせやるならドーンと5,000円の大口、1万円の超大口をここぞの時にやることも良いと思います。皆様、プチでも超大口でも良いことがあったらスマイルしまくりましょう。本日は以上です。

《ロータリーの友の紹介》 由利和士君

9月号からの紹介

【表紙が2つあるのはなぜか？】

創刊当時は本として横組みだけだったが、その後俳句・歌壇などの縦書きのコーナーが入り、そのままではレイアウト上具合が悪いということで、1972年に横組み（左綴じ）、縦組み（右綴じ）という形式になり、現在に至っている。

【関東大震災から100年】

1923年9月1日の関東大震災後、世界各国から救援金が送られた。東京RCは同年10月10日に例会を再開し、救援金の用途を複数検討し、市営東京孤児院への寄付も決めた。孤児院の敷地内に新棟1棟の寄贈を決め、入居対象を年長女子児童、ミシンを使った裁縫を教える職業訓練を行う場とすることに決定する。建物は180坪コンクリート2階建てとし、1回に事務室、保母室、裁縫室など、2階に居室、集会室などを配置した最新式の建造物となる。1924年10月10日に完成し「Rotary Home」と名付けられる。震災後1年でこのような建造物を完成させたことに感銘を受ける。

《会員卓話》 濁澤光宏君

「紙造りで培われた技術」

SDGs やカーボンニュートラル、地球環境に貢献するサーキュラエコノミーに欠くことができない会社となることを相川グループの目標とする。紙産業自体、優れたサーキュラエコノミーを体現していることから、紙造りで培われた技術に以下のような価値を見出すとともに、取り組みをおこなっている。

- ・我々の原質調成機器は、紙、板紙製造以外の他の産業への応用が可能。たとえば、プラスチックの異物除去、エタノール製造など。
- ・CNF セルロースナノファイバーは鋼鉄の5倍の強度、5分の1の軽さ、高いリサイクル性の等の特長を持つ。再生可能エネルギーの大量備蓄、利用によるCO2大幅削減の可能性

・加圧浮上式水処理装置ポセイドンの用途としては、食品工場の排水処理（肉類からの血液、脂肪除去など）がある。

・バガスパルプ（サトウキビの搾りかす）からコーヒークラップセルを製造。プラスチック包装を持続可能な植物性パルプに置き換える取り組み。

《スマイル報告》

川口尚宜君 皆様に月一回のスマイルをお願いしたので、有言実行します。皆様、これから月一スマイルでよいことの報告をお願いします。

塚田義生君（誕生日の御礼）

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU
8/24	57 (55)	44	11	3
8/17	56 (54)	42	12	3
8/3	56 (54)	33	21	9
8月暫定出席率				81.57%

(会報作成 島 武志)